

とめNNだより

令和2年6月発行
第20号

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称 NN 部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴活動推進委員会】

■スマート農業の実現に向けた現地実演会について

先端技術を活用した「スマート農業」の実現を図るため、令和2年5月18日に伊豆沼土地改良区職員、関係耕作者である相澤氏(認定農業者)及び当事務所職員が参加し、クボタアグリサービス株式会社様の御協力のもと、直進アシスト付き田植機の実演会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため参加者を限定し開催しました。スマート農業は、ロボット技術やICT等の先端技術を活かし、効率的な栽培管理を行うことで、生産効率のアップや生産過程の低コスト化等が期待できます。

今回は、伊豆沼2工区地区にある2ヘクタール(長辺200メートル、短辺100メートル)の大規模ほ場に植え付けをしました。相澤氏は「田植機の速度が従来よりも速いが、欠株がなく植えることが出来た。」とコメントしました。今後は、大規模ほ場での生育のばらつきをデータ化し、来年度の土づくりや施肥管理に役立てたいと考えています。

また、当日は当事務所の新人職員3名も作業に参加し、苗運びから田植機操作まで一連の田植え作業を体験することができました。



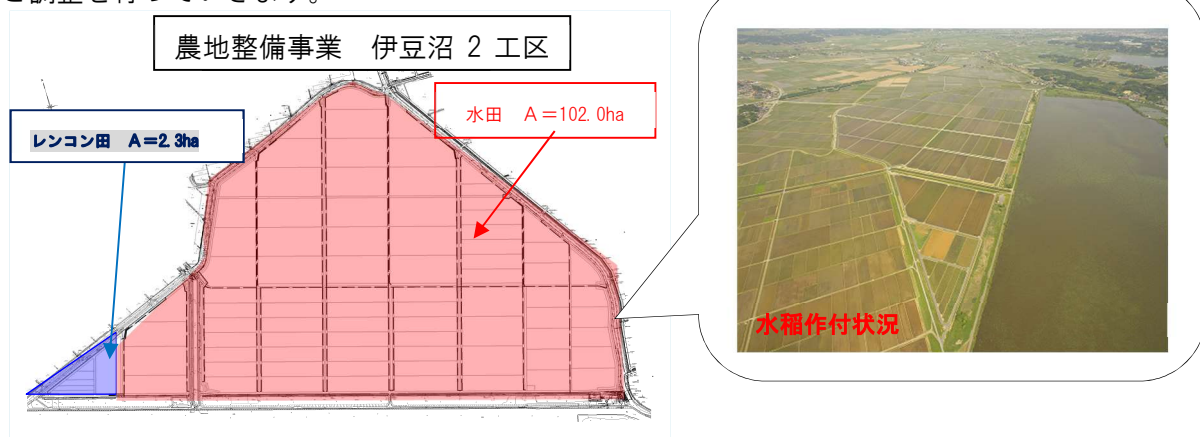
▲苗補充等の植え付け準備をする様子



▲自動運転で走行中のオペレーター1人で苗補充が可能

■農地整備事業「伊豆沼2工区地区」の進捗状況について

平成27年度採択の農地整備事業「伊豆沼2工区地区」について、平成28年度から区画整理工事を開始し、令和元年6月に全ての区画整理工事が完了し、地元耕作者へ引き渡しました。また、令和元年度からレンコン栽培を行い、令和2年5月には地区内全面積の水稲作付が完了しました。今後、事業完了に向けて関係機関と調整を行っていきます。



■ R2 年度防災重点ため池点検（梅雨前）の実施について

登米管内には大雨で決壊した場合、民家や公共施設へ被害が及ぶ恐れがある「防災重点ため池」が15箇所あることから、梅雨時期前の5月21日、25日の2日間、ため池の管理者である登米市職員と当部職員がため池のり面からの湧水や洪水吐の老朽化などの点検パトロールを実施しました。

今回の点検によって安全施設の早急な設置を必要とする箇所が発見され、東北興商株式会社様に協力をいただき、転落防止ネットを試験的に設置しました。

ため池の周囲には都市化や混住化が進んでいるところも多く存在し、水難事故の危険性が増しています。ため池付近には今回のように危険な箇所が多く存在していますので、近づかないようにお願いします。

次回は落水後の10月以降に底樋等の施設も含めた点検を計画しています。



▲ため池点検の様子



▲転落防止ネット設置後の写真

■ 低濃度 PCB 廃棄物の処理状況について

水利施設等保全高度化事業五ヶ村堀地区は、令和元年度に新機場のポンプ設備が完成し、現在は旧機場の五ヶ村堀高位部排水機場撤去工事を実施していますが、本工事において、機場内ポンプ機器類や建屋鉄骨の塗膜から低濃度 PCB が検出されました。

PCB は Poly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称であり、人体に悪影響を及ぼす毒性から現在では国で定めた期限内(低濃度 PCB は令和9年3月末)での処分が原則化されています。

本地区の低濃度 PCB 廃棄物については、6月下旬より処分場へ搬出される予定としており、7月中旬の処分完了を目指し、関係機関と準備を進めています。



▲低濃度 PCB 廃棄物：ポンプ等機器類塗膜



▲低濃度 PCB 廃棄物：建屋鉄骨・クレーン等塗膜

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
 農業農村整備部 広報広聴委員会（編集・管理調整班）
 〒987-0511 ~復興へ 頑張ろう！みやぎ~
 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5
 Tel : 0220-22-5169 Fax : 0220-22-6015
 E-mail : et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp
 URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>